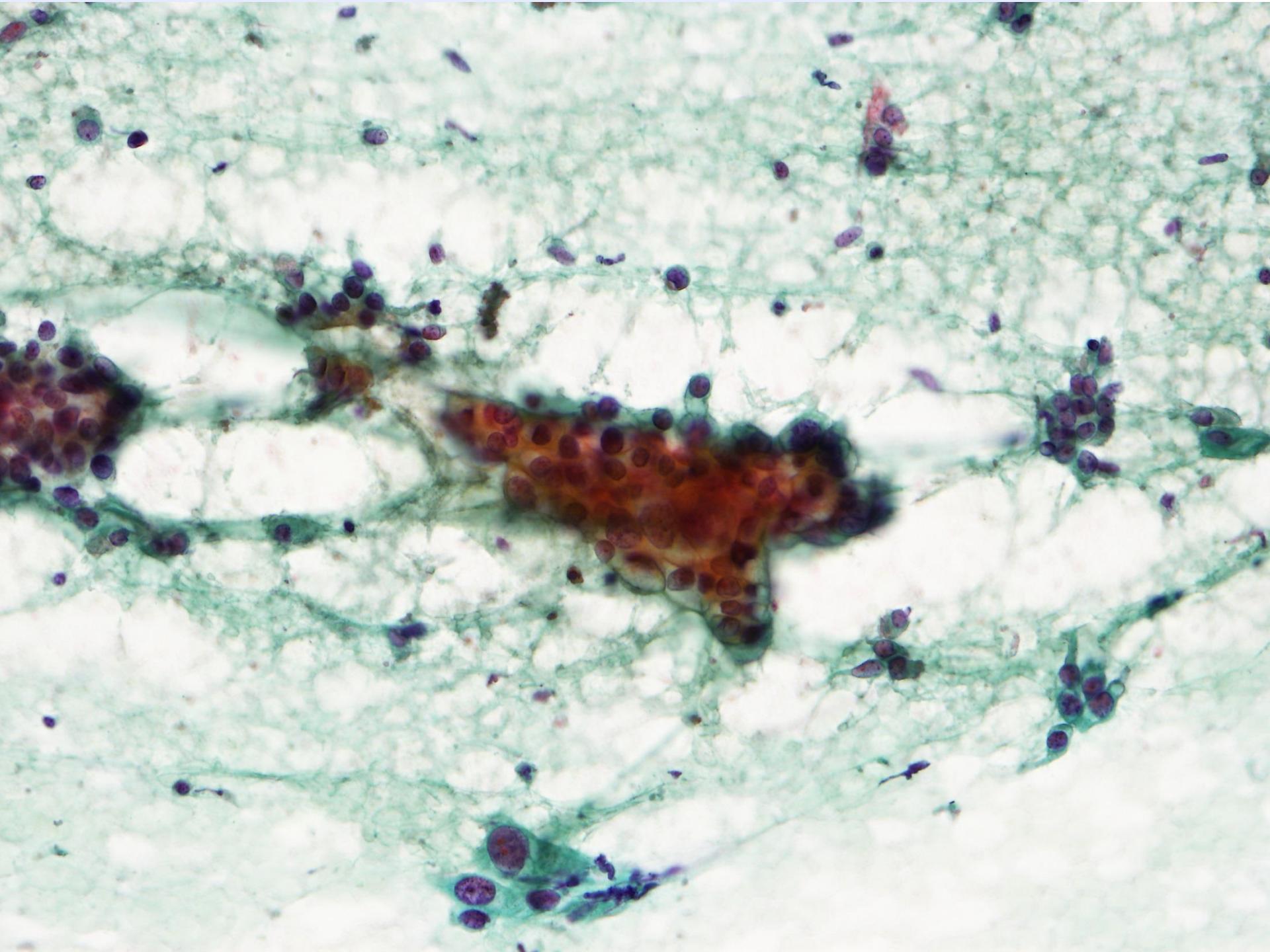
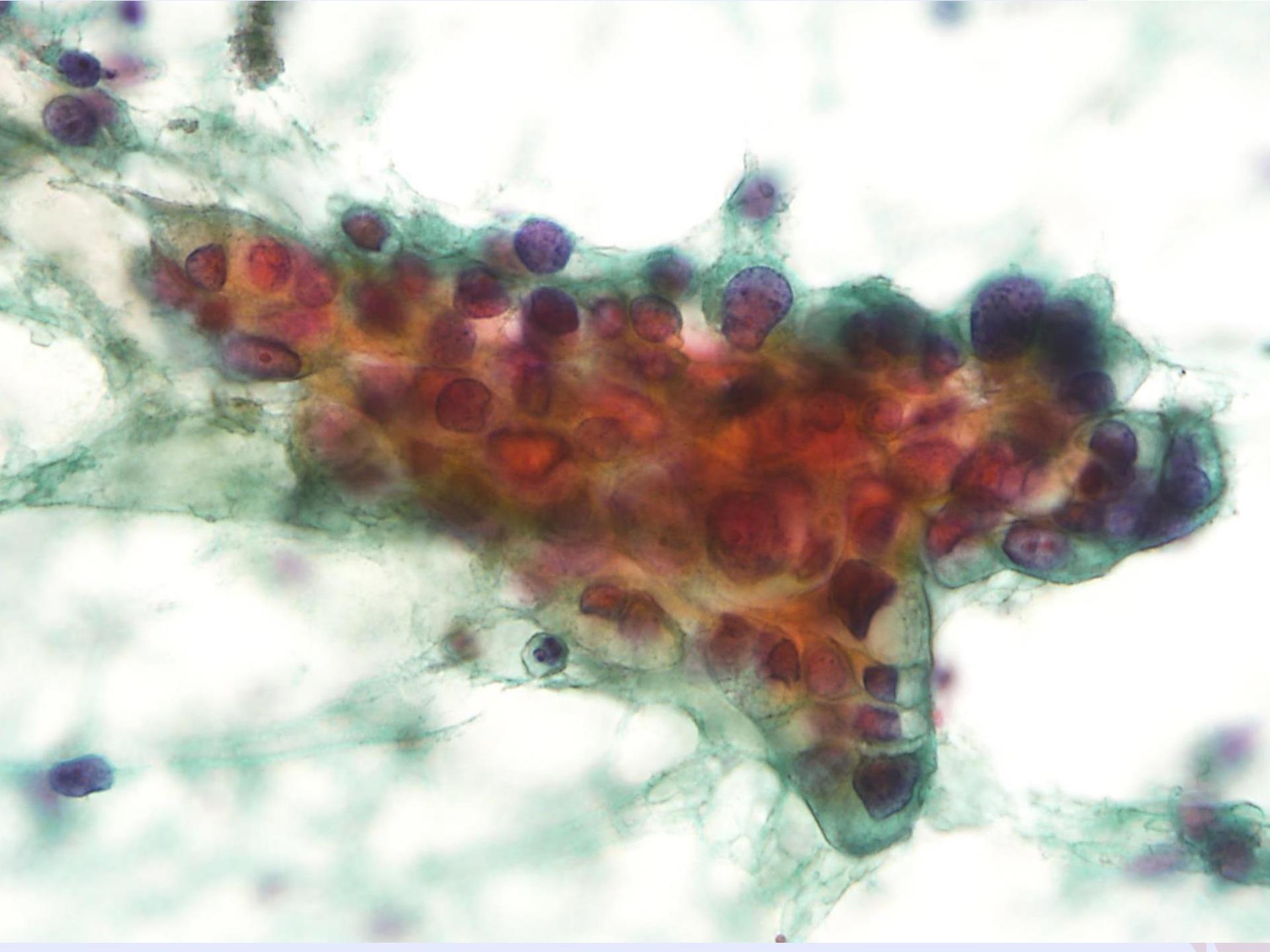
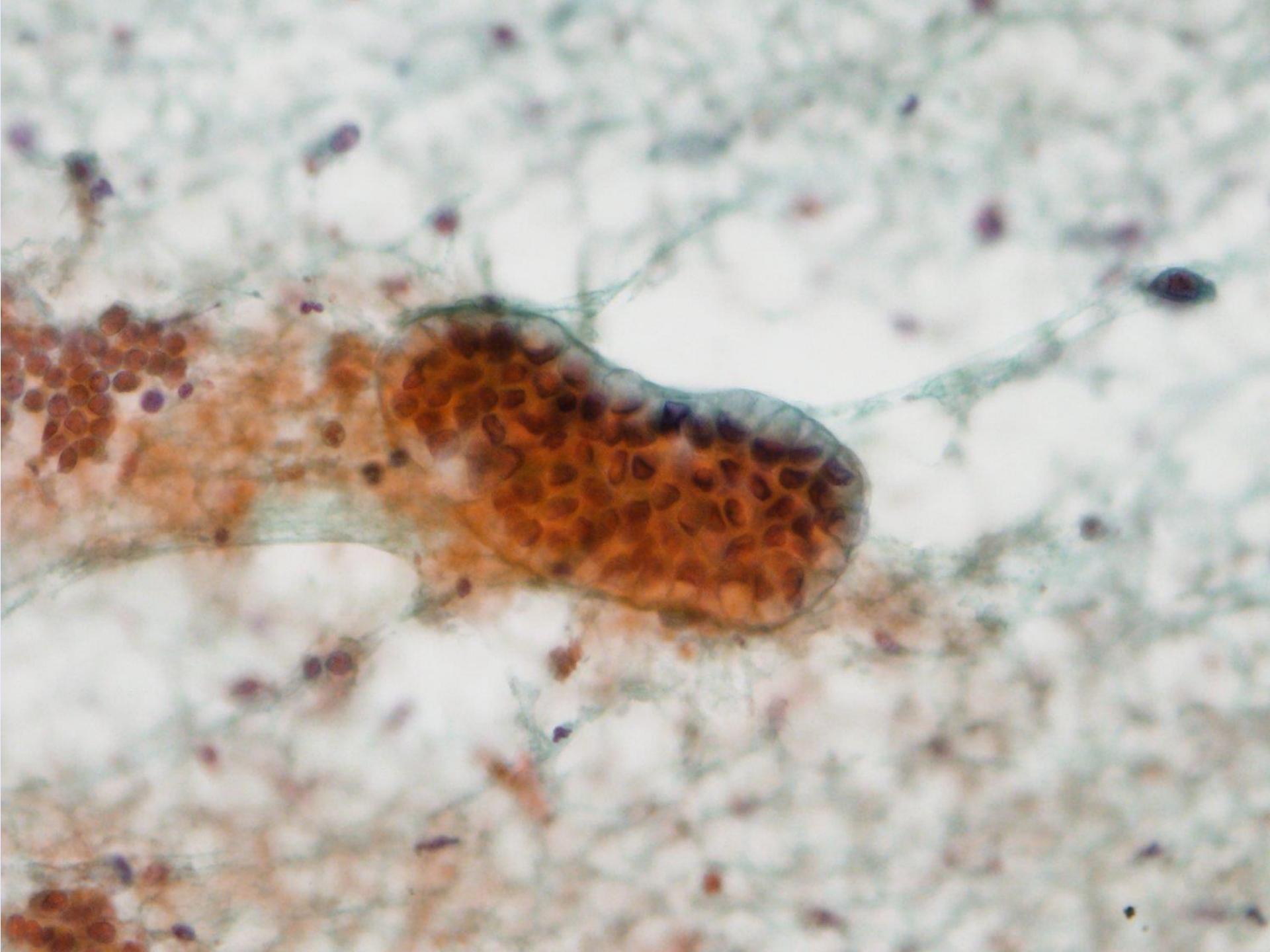


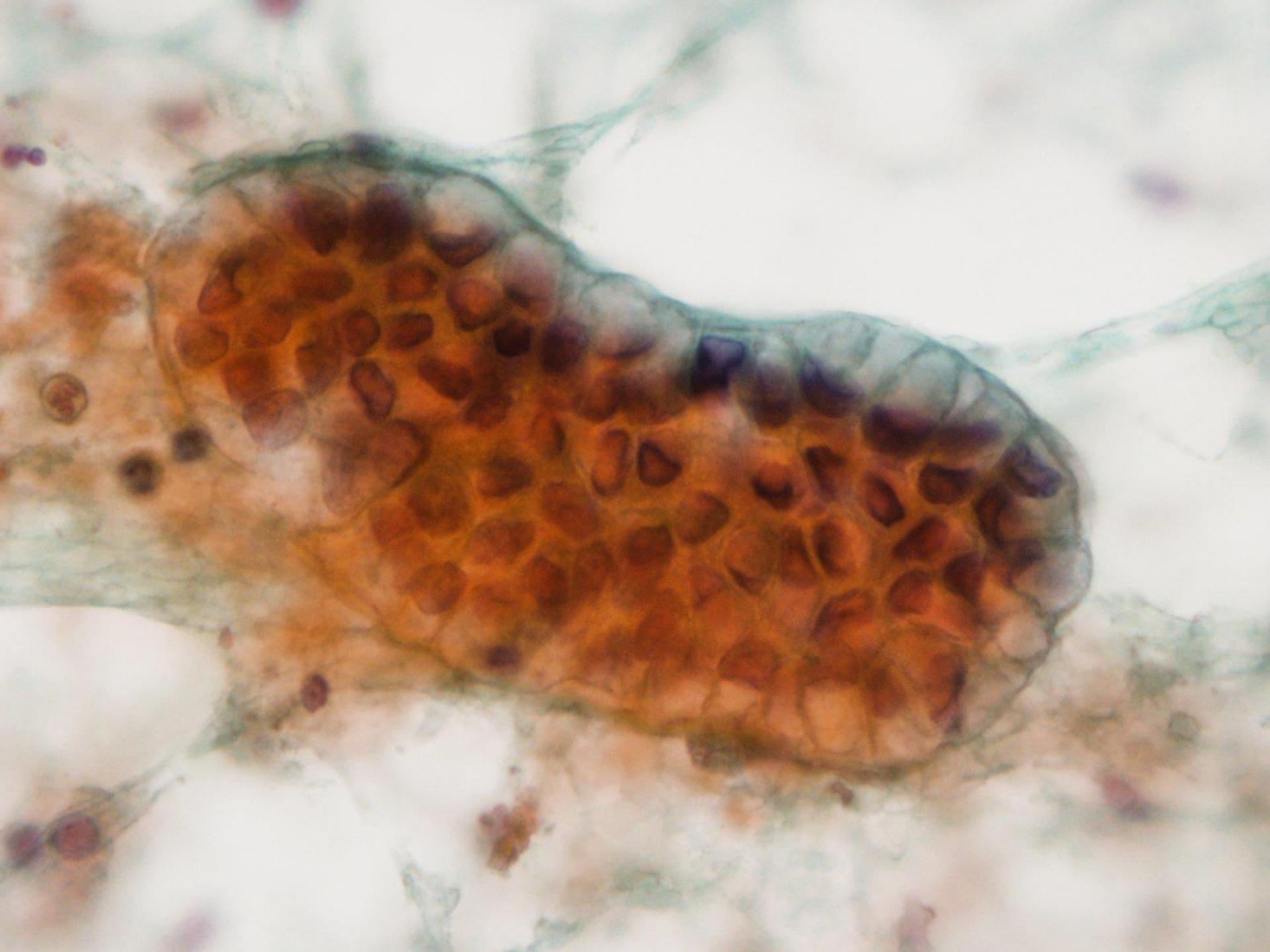
【症例1 婦人科】

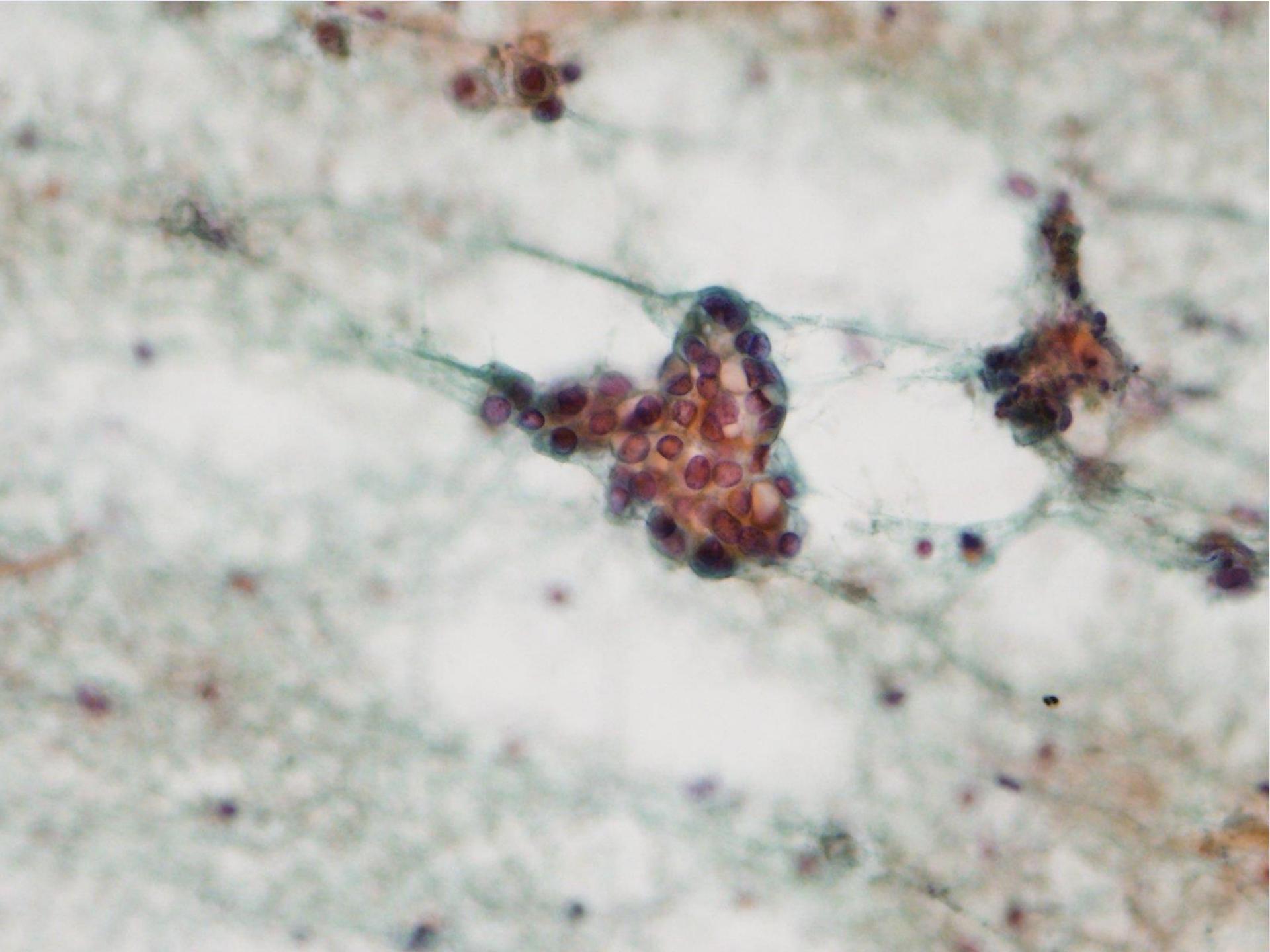
- ◆ 50代 女性
- ◆ 子宮頸癌検診にて異常指摘、精査目的にて当院紹介受診
- ◆ 帯下增量なし、不正出血なし
- ◆ MRIにて子宮頸部に36mm大の腫瘍

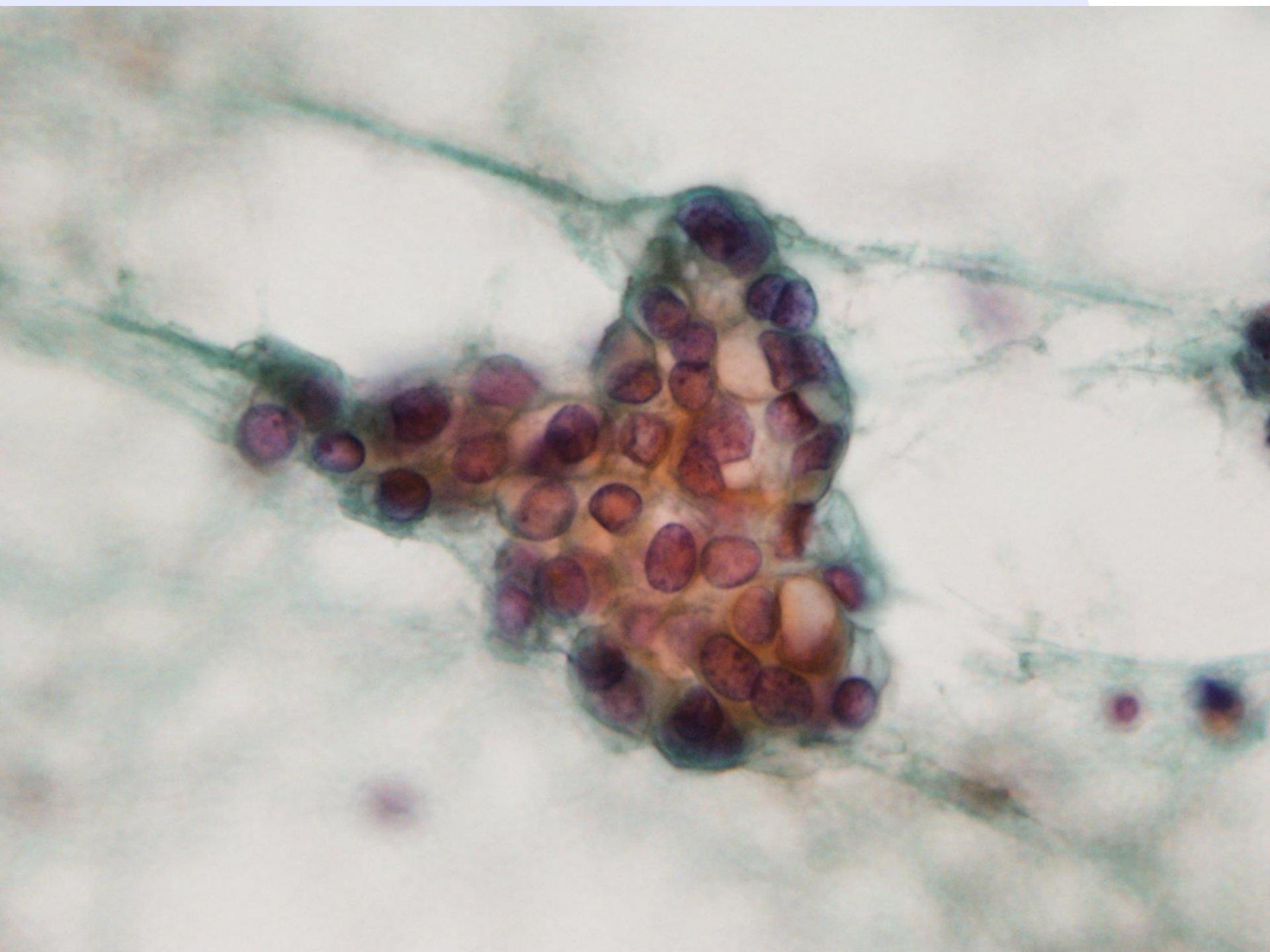








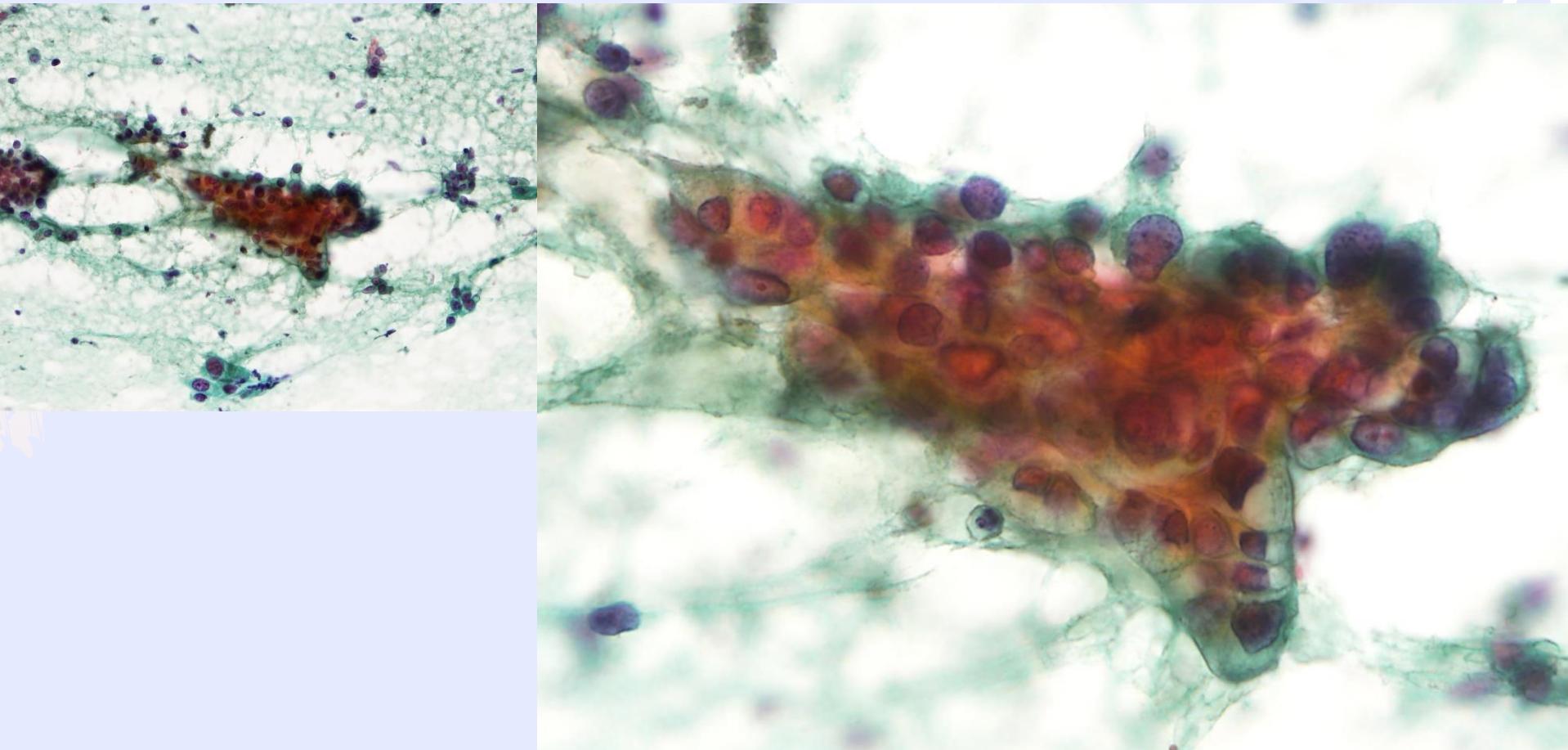




【選択肢】

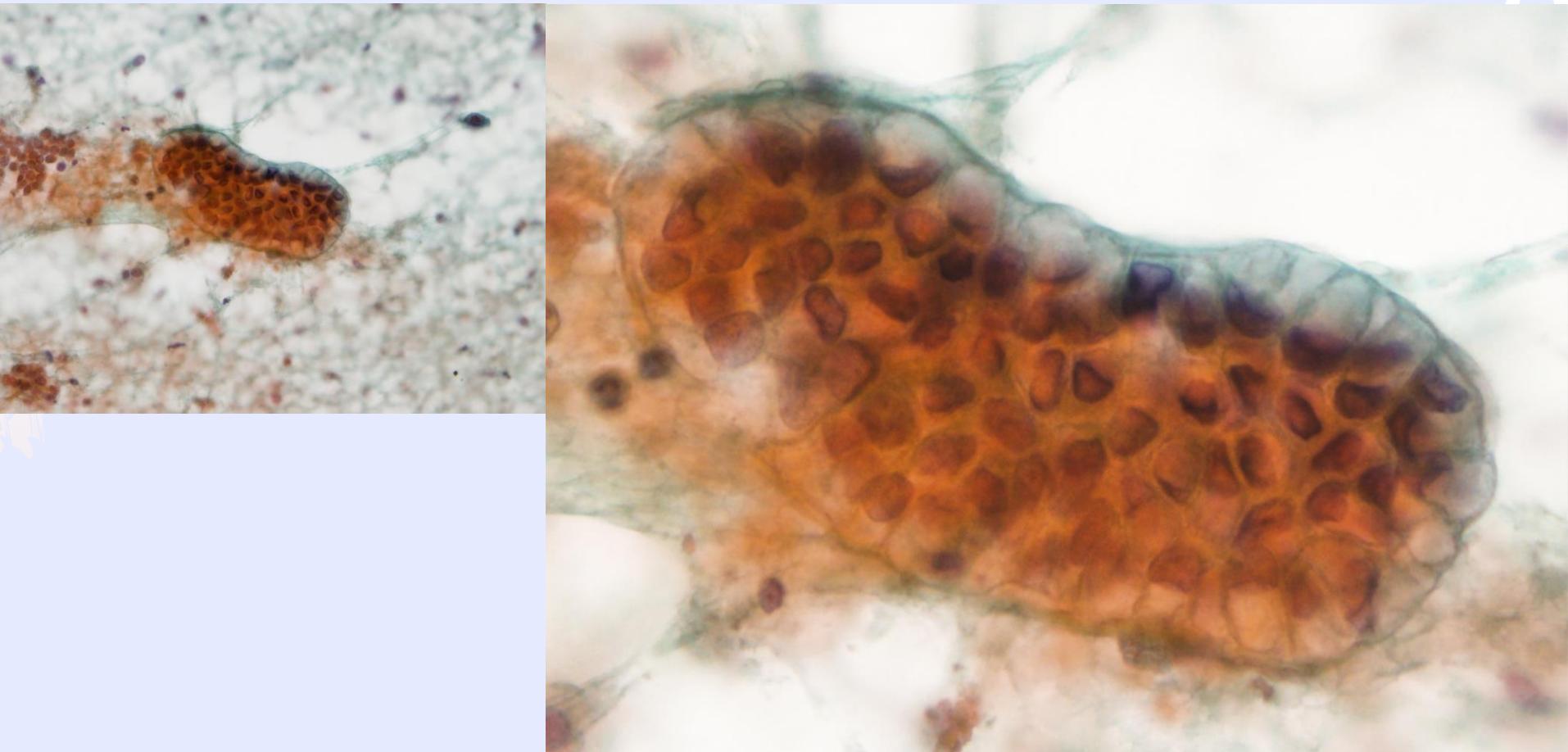
- 1)慢性頸管炎
- 2)分葉状頸管腺過形成
- 3)上皮内腺癌
- 4)通常型内頸部腺癌
- 5)胃型粘液性癌

スライド1



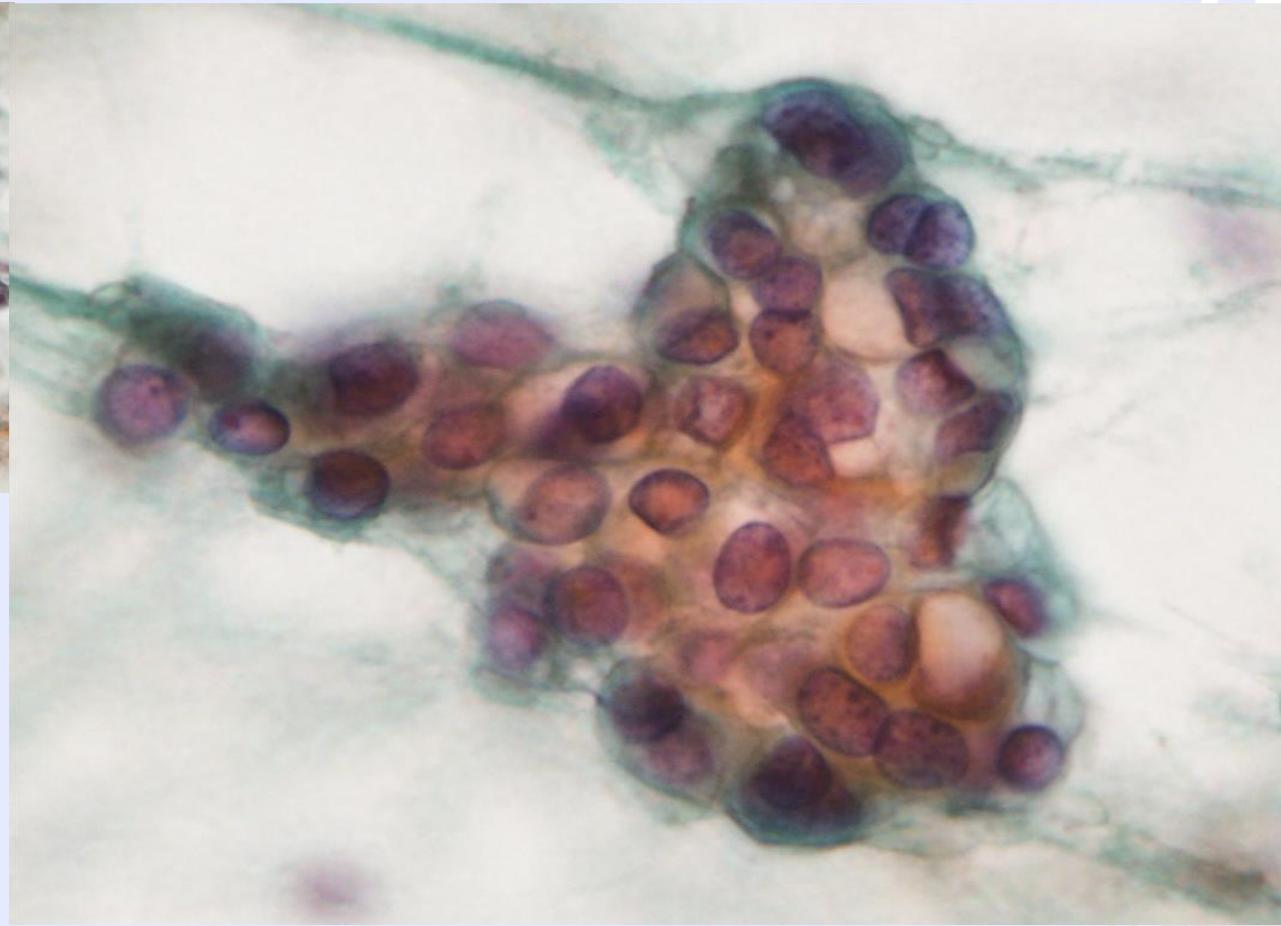
- ・血性背景に、核の配列不整、核異型を示す集塊を認める。

スライド2



- ・淡明、黄色調粘液を豊富に有する集塊を認める。
- ・明瞭な細胞境界、核が基底側に配列する像を認める。

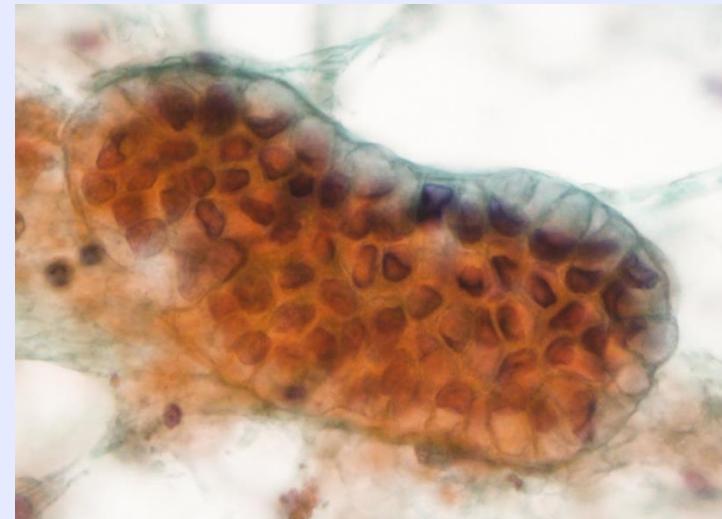
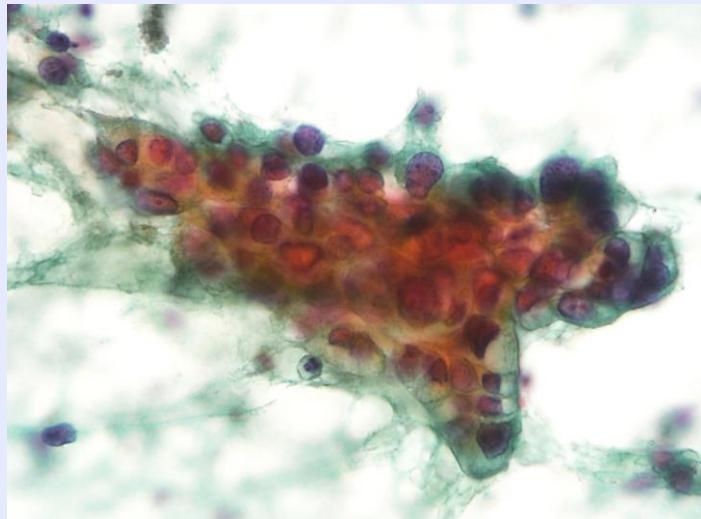
スライド3



・核間距離の不整、顆粒状～細顆粒状クロマチンの増量を認める。

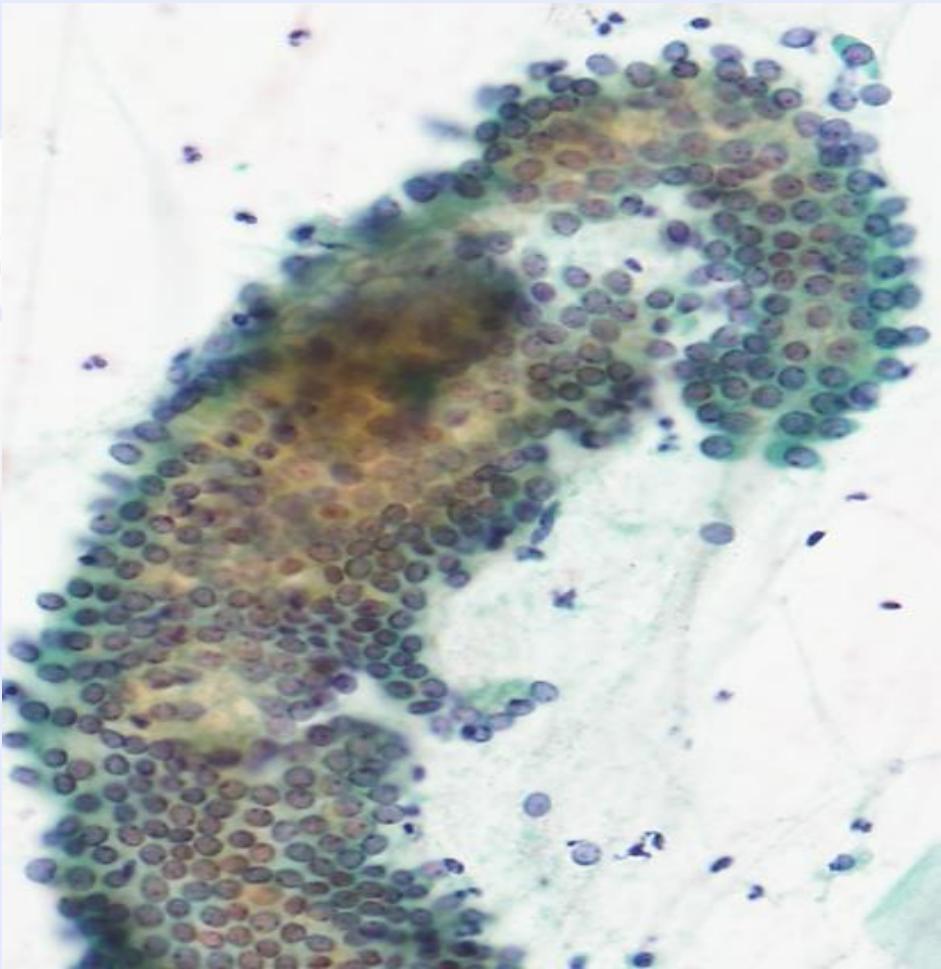
細胞所見まとめ

- ◆ 血性背景
- ◆ 配列の乱れた集塊の出現
- ◆ 核は概ね基底側に存在している集塊の出現
- ◆ 淡明～黄色調粘液を豊富に有する
- ◆ 明瞭な細胞境界

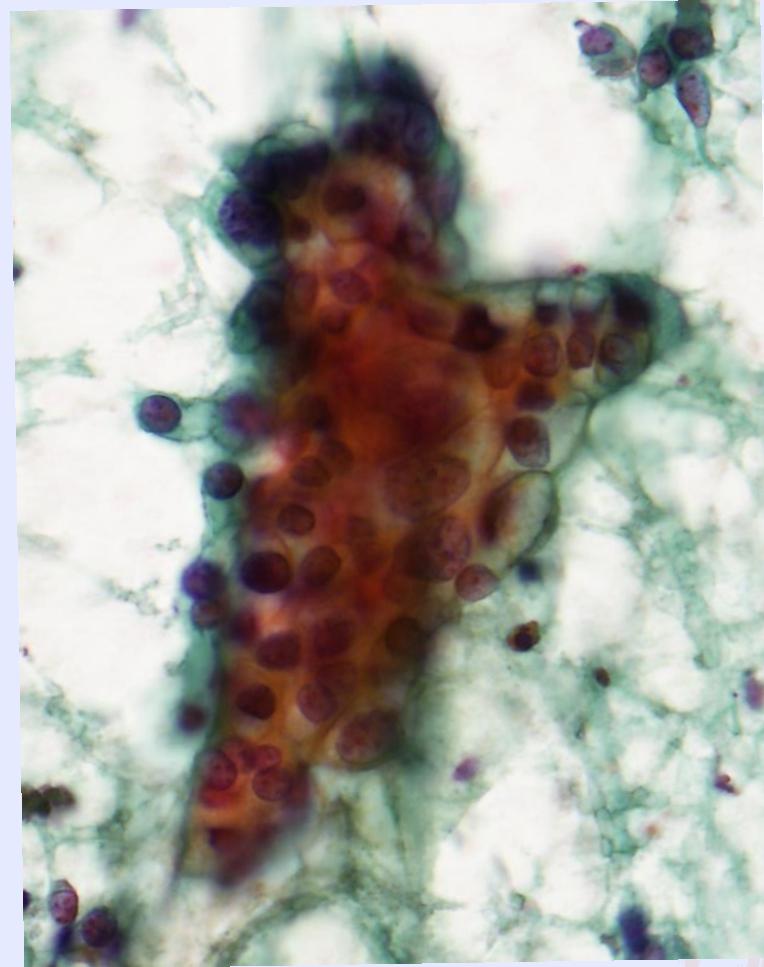


鑑別診断

分葉状頸管腺過形成



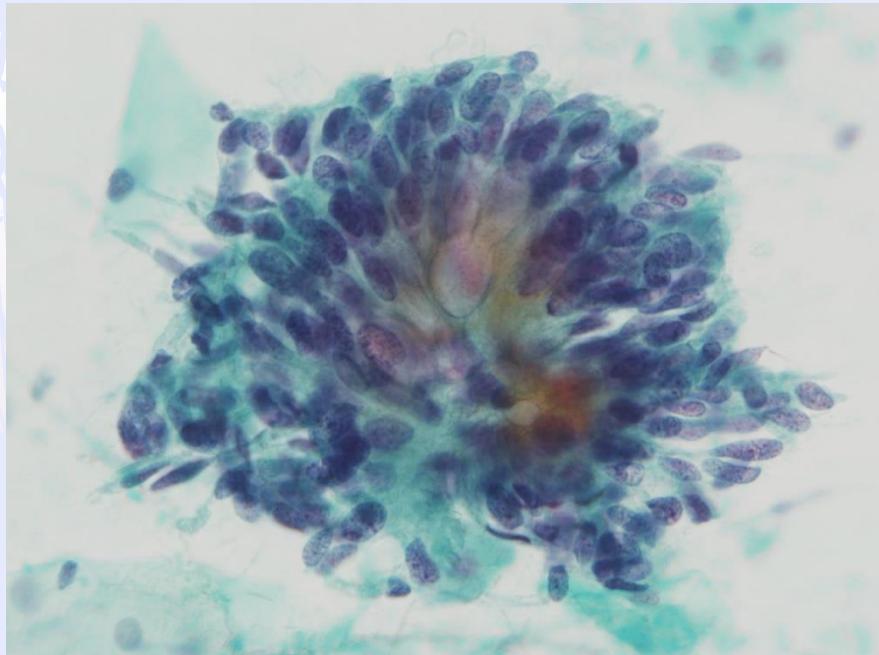
- ・黄色調粘液を有する平面的な集塊が出現。
- ・核形不整、クロマチン増量は乏しい。



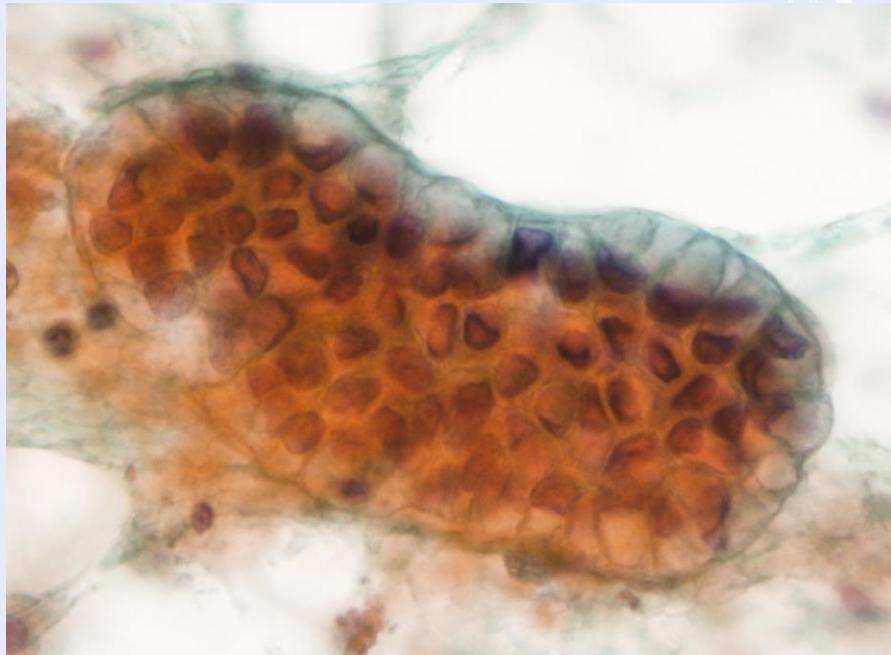
- ・核配列の乱れた重積性集塊の出現。
- ・核形不整、クロマチン増量が認められる。

鑑別診断

上皮内腺癌



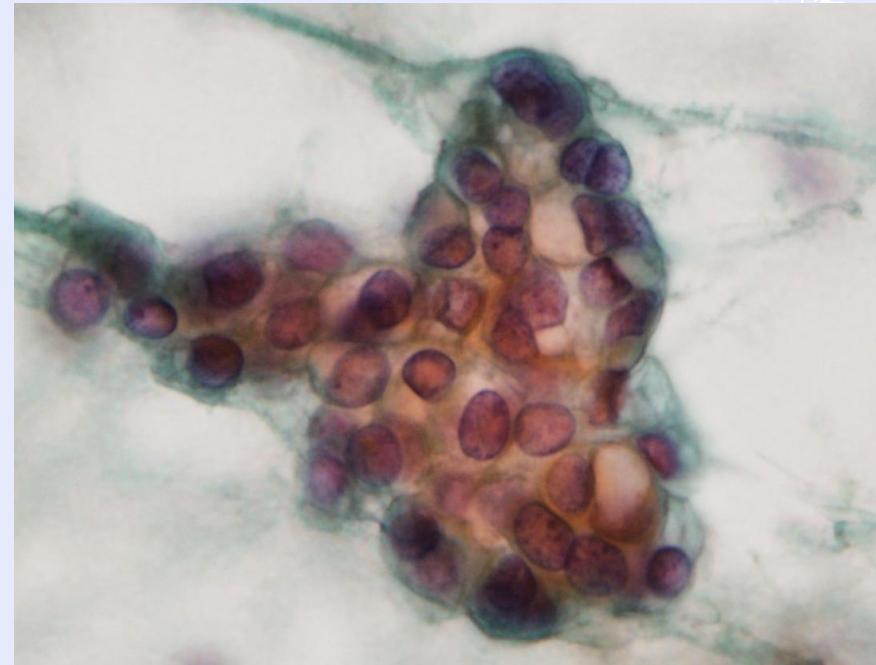
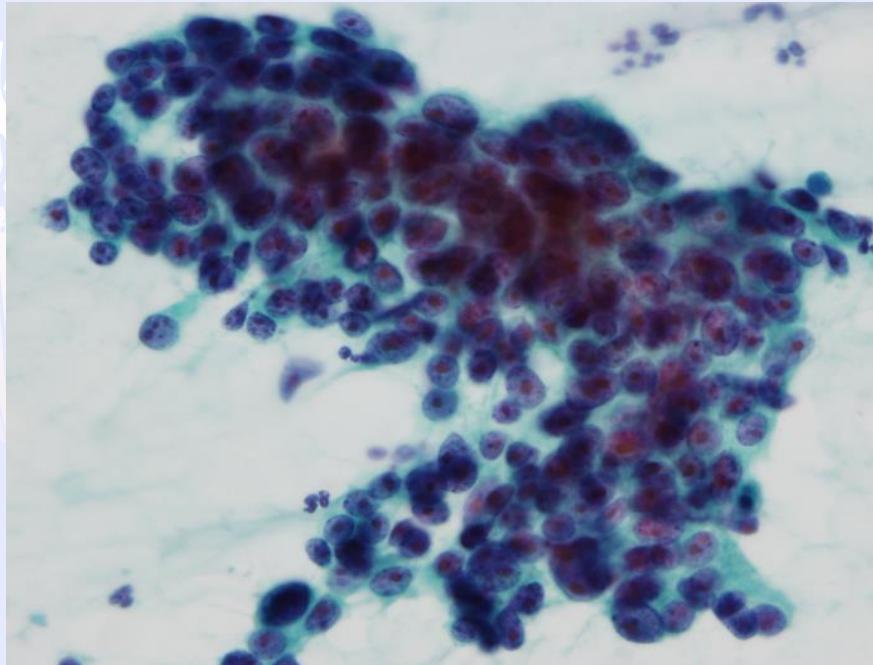
- ・高円柱状細胞からなる放射状、羽毛状集塊の出現。
- ・核は類円形～橢円形で核小体は小型あるいは不鮮明である。



- ・明瞭な細胞境界がみられる集塊の出現。
- ・核は概ね基底側に配列している。

鑑別診断

通常型内頸部腺癌



- ・核の偽重層を示す集塊の出現。
- ・粘液は僅少であるかほとんど認められない。

- ・淡明、黄色調粘液を豊富に有する細胞の出現。

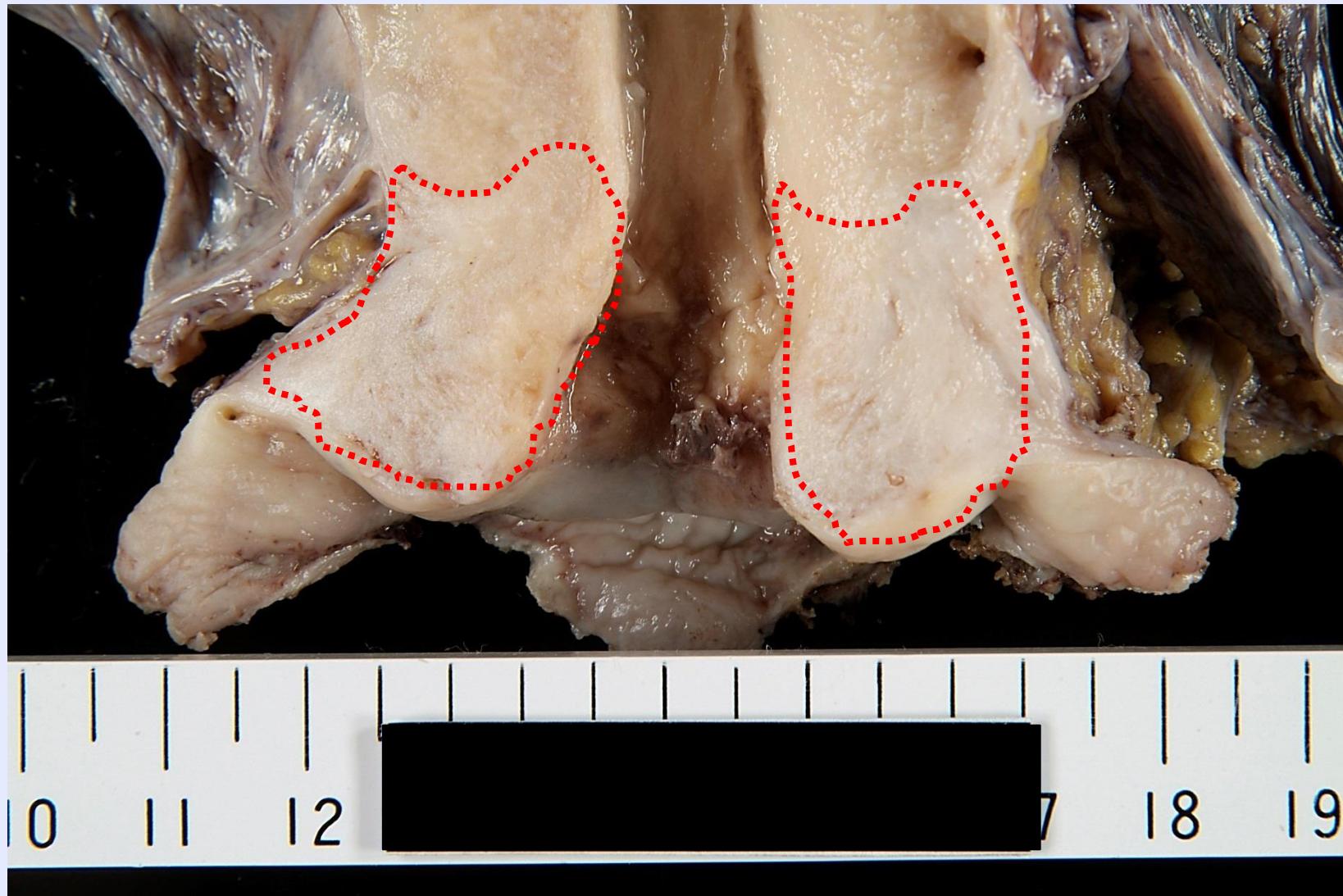
【選択肢】

- 1)慢性頸管炎
- 2)分葉状頸管腺過形成
- 3)上皮内腺癌
- 4)通常型内頸部腺癌
- 5)胃型粘液性癌

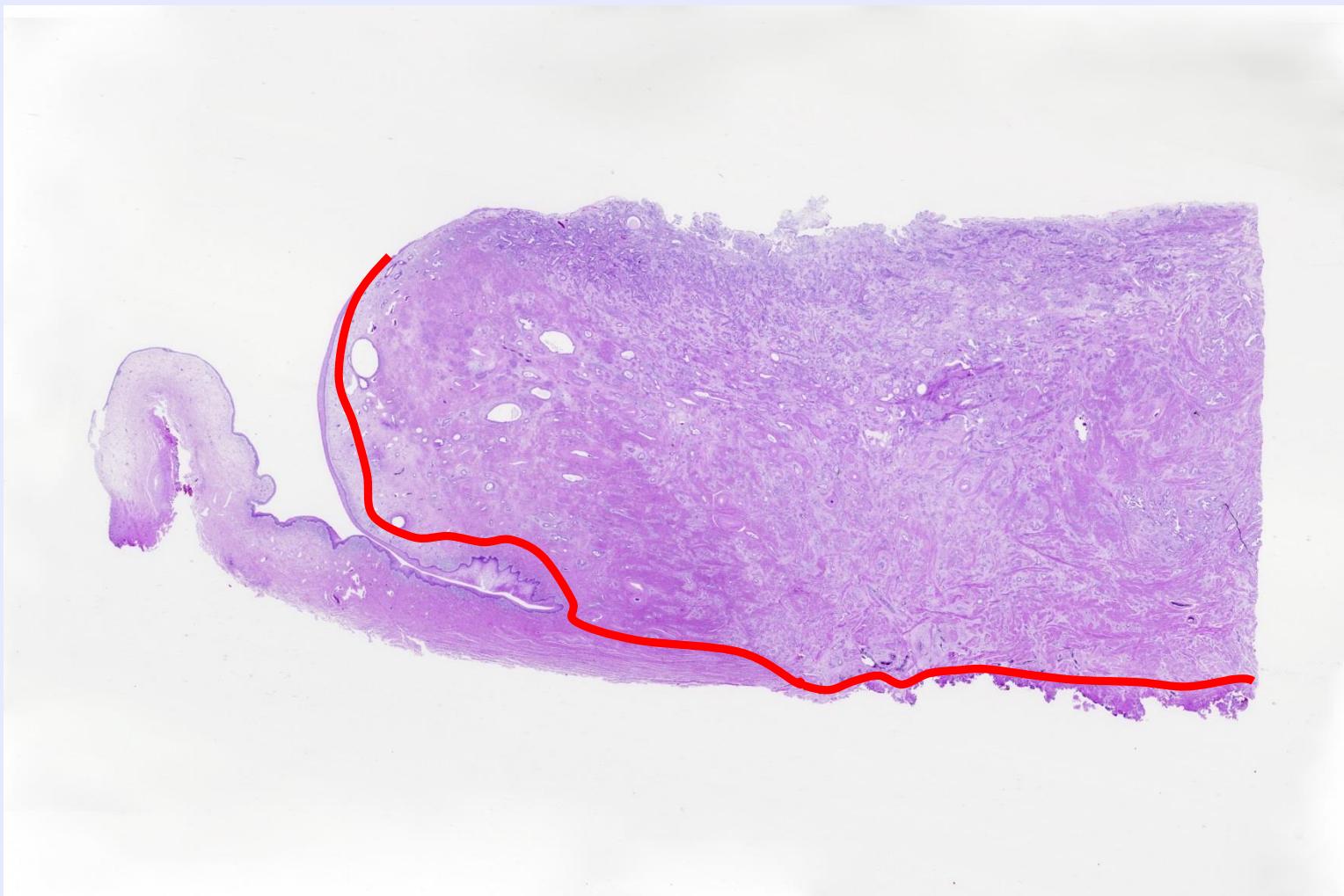
固定後肉眼像



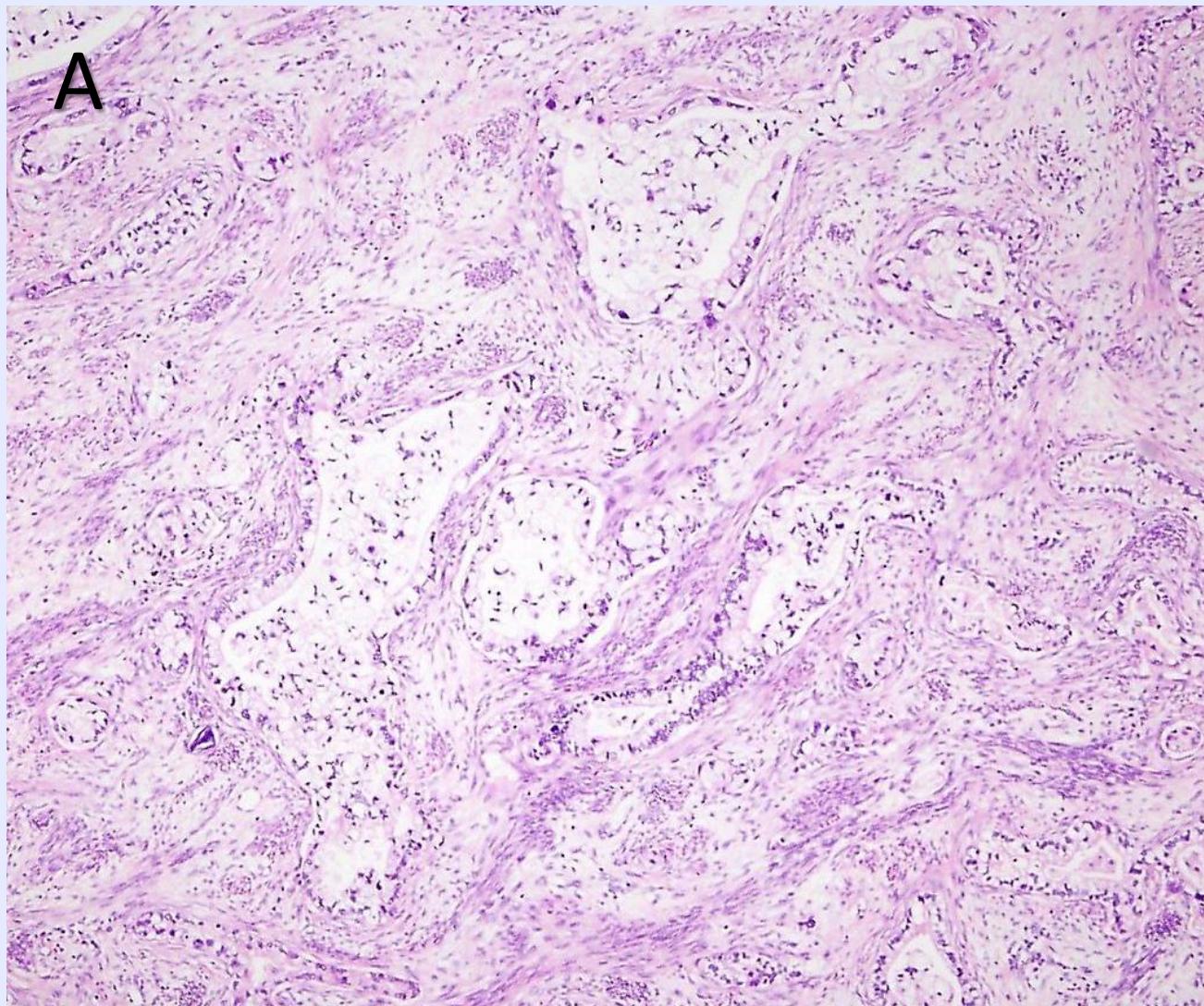
固定後肉眼像



ルーペ像

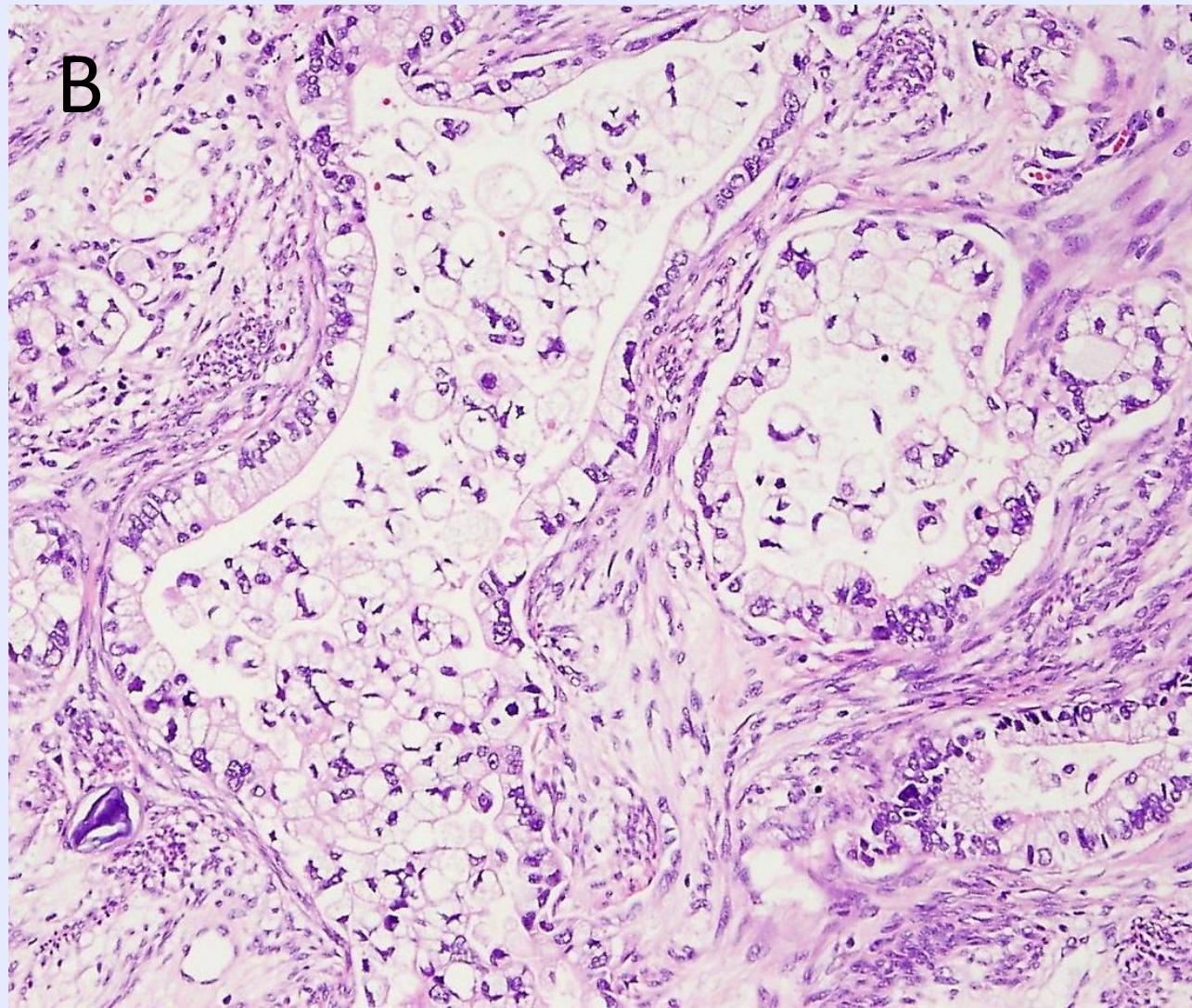


組織像



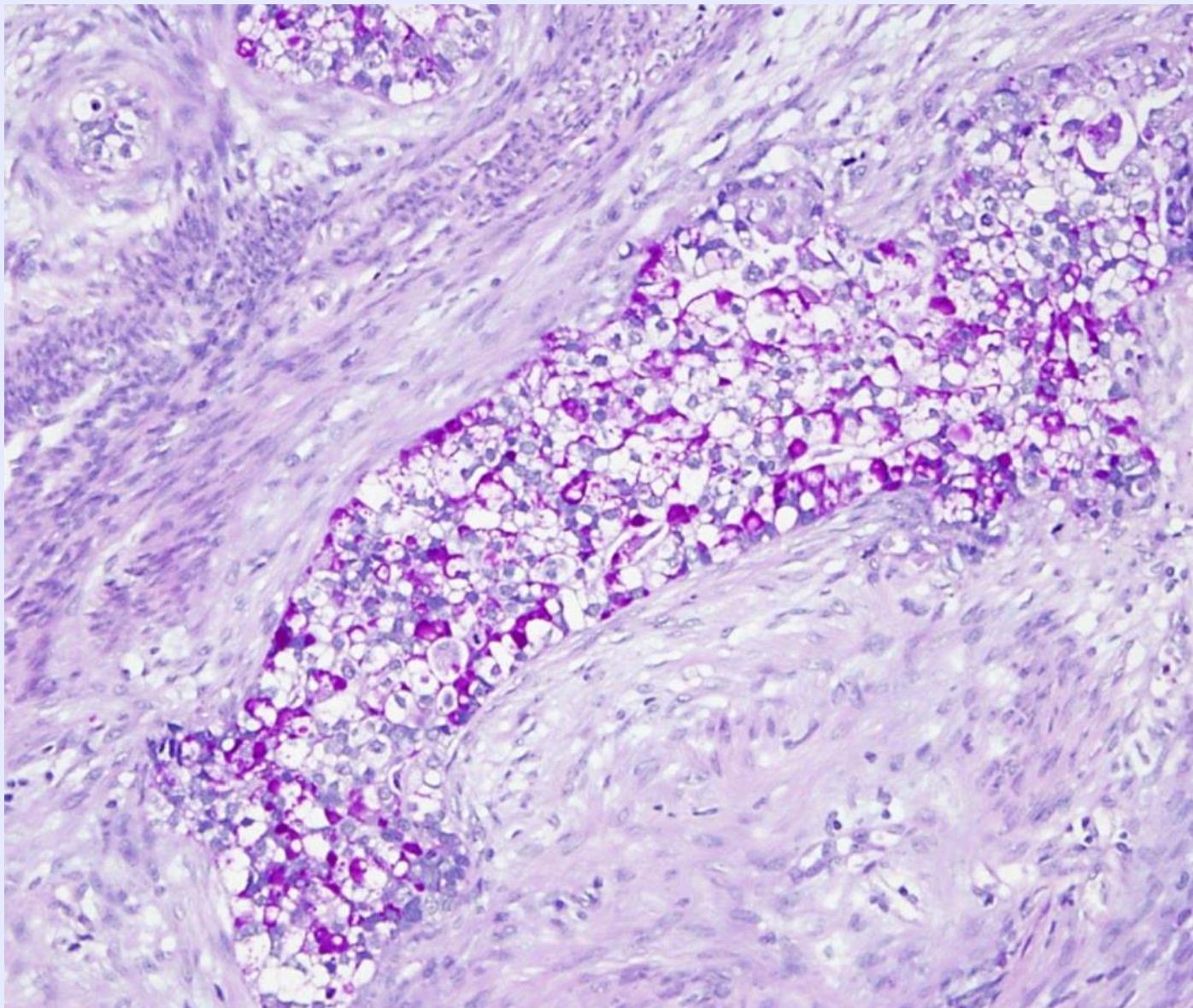
①不規則に拡張した腺管 ②清明ないし淡好酸性細胞質

組織像

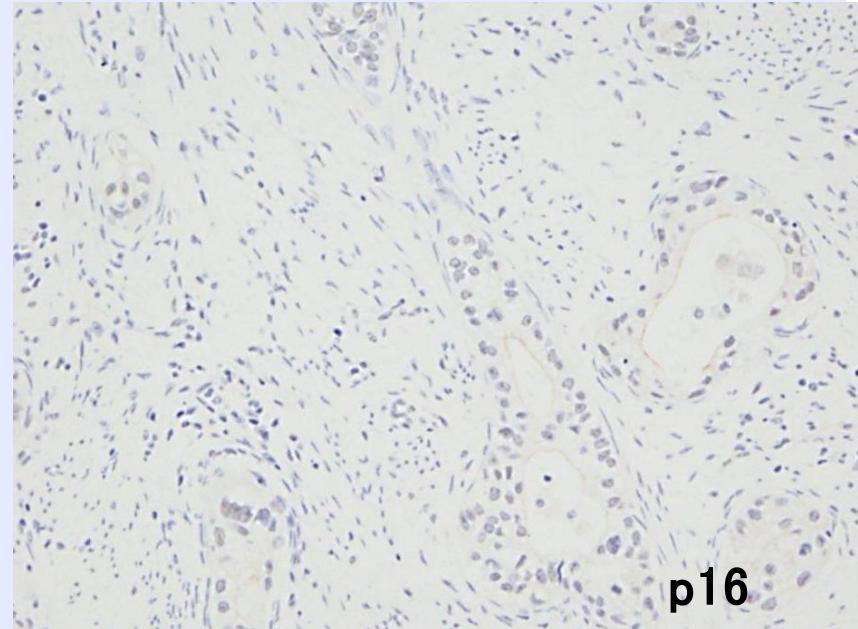
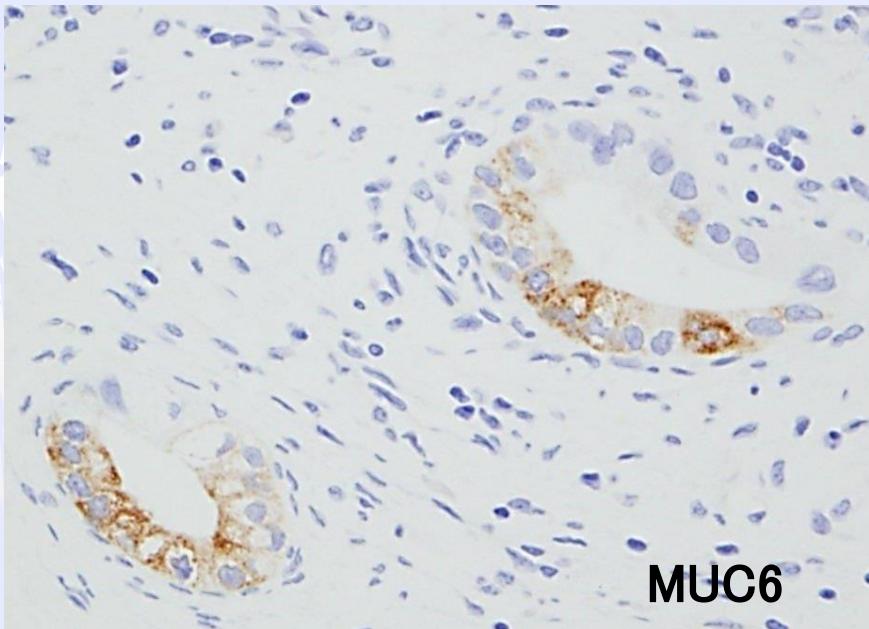


③豊富な粘液 ④明瞭な細胞境界

Alcian blue/PAS重合染色



免疫組織化学染色結果



抗体	CK7	CK20	CDX2	CEA	PAX8	ER	PR	HIK 1083	MUC6	p16	p53
結果	+	+	+	+	+	-	-	-	focal +	-	+

病理組織診斷

Cancer of the uterine cervix, radical hysterectomy:

- mucinous carcinoma, gastric type,
ly(+), v(+), parametrial invasion(+),
vaginal invasion(–),
ovarian metastasis(+),
LN(2/17), pT2bN1

子宮頸癌取扱い規約 第3版(2012年)

- A. 上皮性腫瘍と関連病変
- b. 腺上皮および関連病変
- 1) 腺異形成
- 2) 上皮内腺癌
- 3) 微小浸潤腺癌
- 4) 腺癌

- a) 粘液性腺癌
 - (1) 内頸部型粘液性腺癌
 - (2) 腸型粘液性腺癌
 - (3) 印環細胞型粘液性腺癌
 - (4) 最小偏倚型粘液性腺癌
 - (5) 級毛腺管状粘液性腺癌

- b) 類内膜腺癌
- c) 明細胞腺癌
- d)漿液性腺癌
- e) 中腎性腺癌

- 5) 腺扁平上皮癌
 - a) すりガラス細胞癌
- 6) 腫瘍類似腺病変

子宮頸癌取扱い規約 第4版(2017年)

- I 上皮性腫瘍
- B. 腺腫瘍および前駆病変
- 1) 上皮内腺癌
- 2) 腺癌

- a. 通常型内頸部腺癌
- b. 粘液性癌

- (1) 胃型粘液性癌
- 最小偏倚腺癌
- (2) 腸型粘液性癌
- (3) 印環細胞型粘液性癌

- c. 級毛腺管癌
- d. 類内膜癌
- e. 明細胞癌
- f. 漿液性癌
- g. 中腎癌
- h. 神経内分泌癌を伴う腺癌

- C. 良性腺腫瘍および腺腫類似病変

胃型粘液性癌

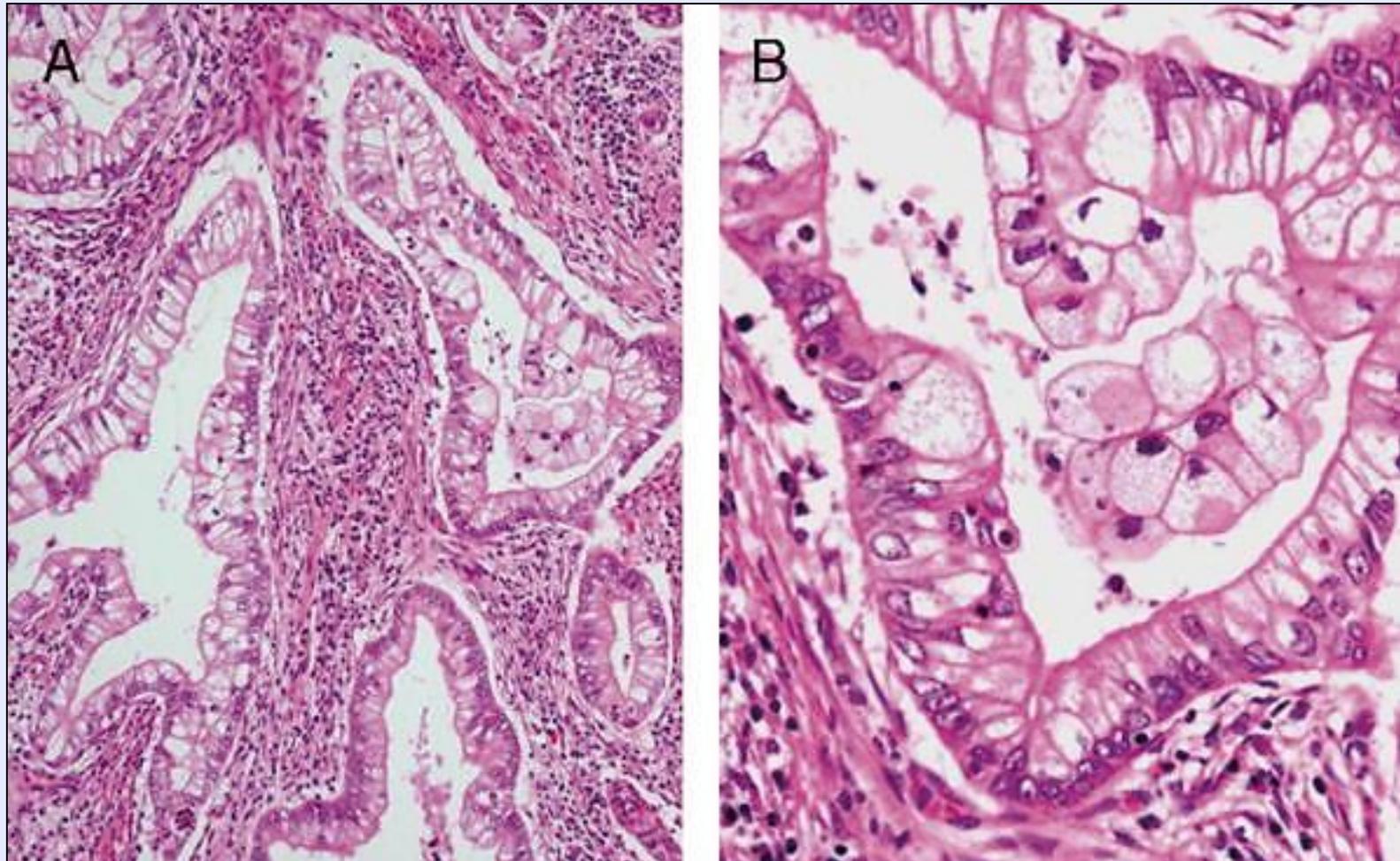
- ◆ 胃型形質を有する粘液性腺癌

Kojima A et al, Am J Surg Pathol 31: 662–672, 2007

- ◆ 頸部腺癌全体の20～25%
- ◆ 40代に好発
- ◆ 予後不良
- ◆ 80%が高分化型
- ◆ HIK1083陽性、MUC6陽性
- ◆ p16陰性、ハイリスクHPV陰性

胃型粘液性癌

①豊富で淡明ないし淡好酸性細胞質を有する②細胞境界明瞭である

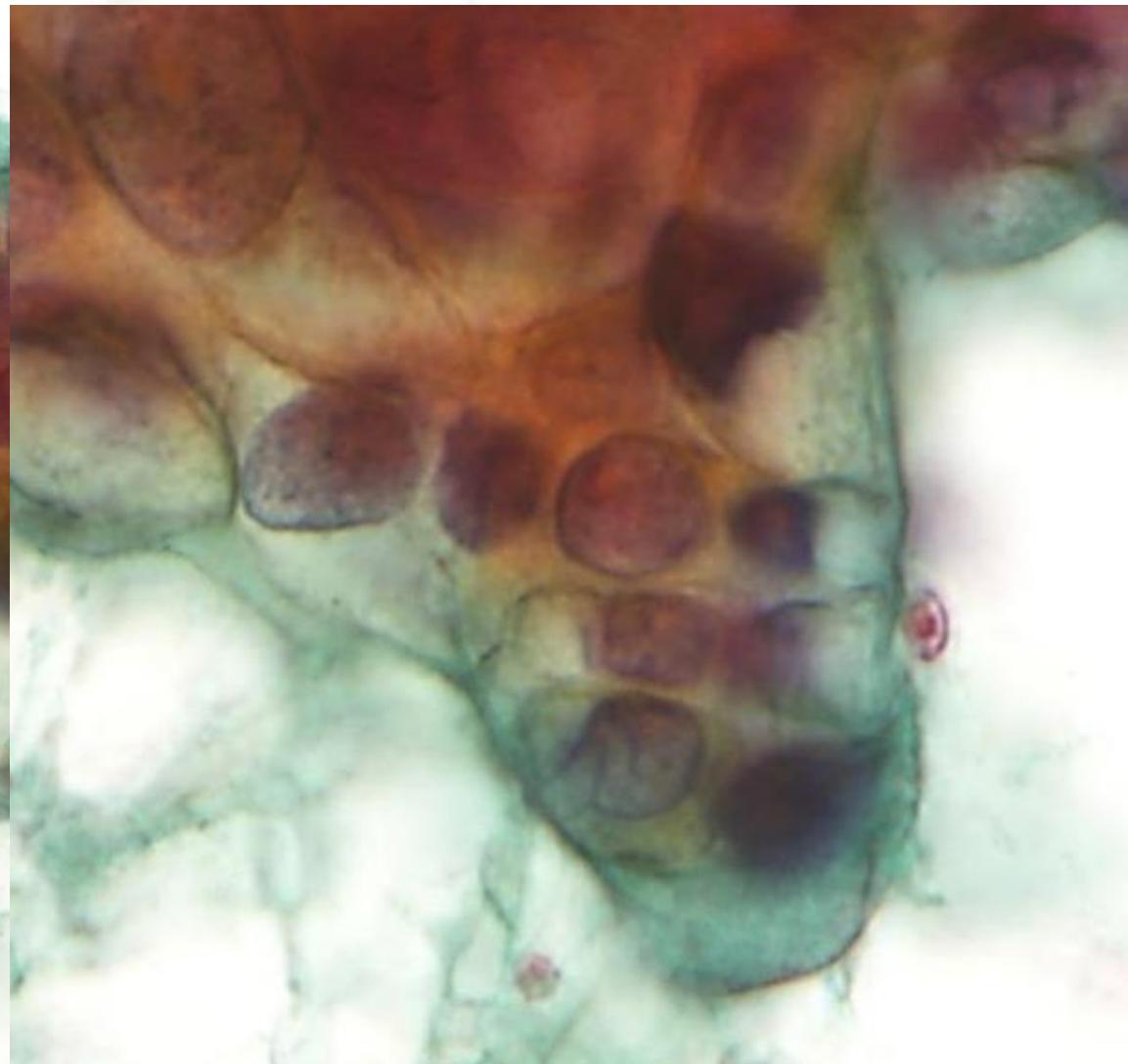


胃型粘液性癌の免疫組織化学的特徴

抗体	陽性率(%)
CK7	100
CK20	49
CDX2	51
CEA	81
CA125	80
PAX8	68
PAX2	5
ER	6
PR	9
MUC6	81

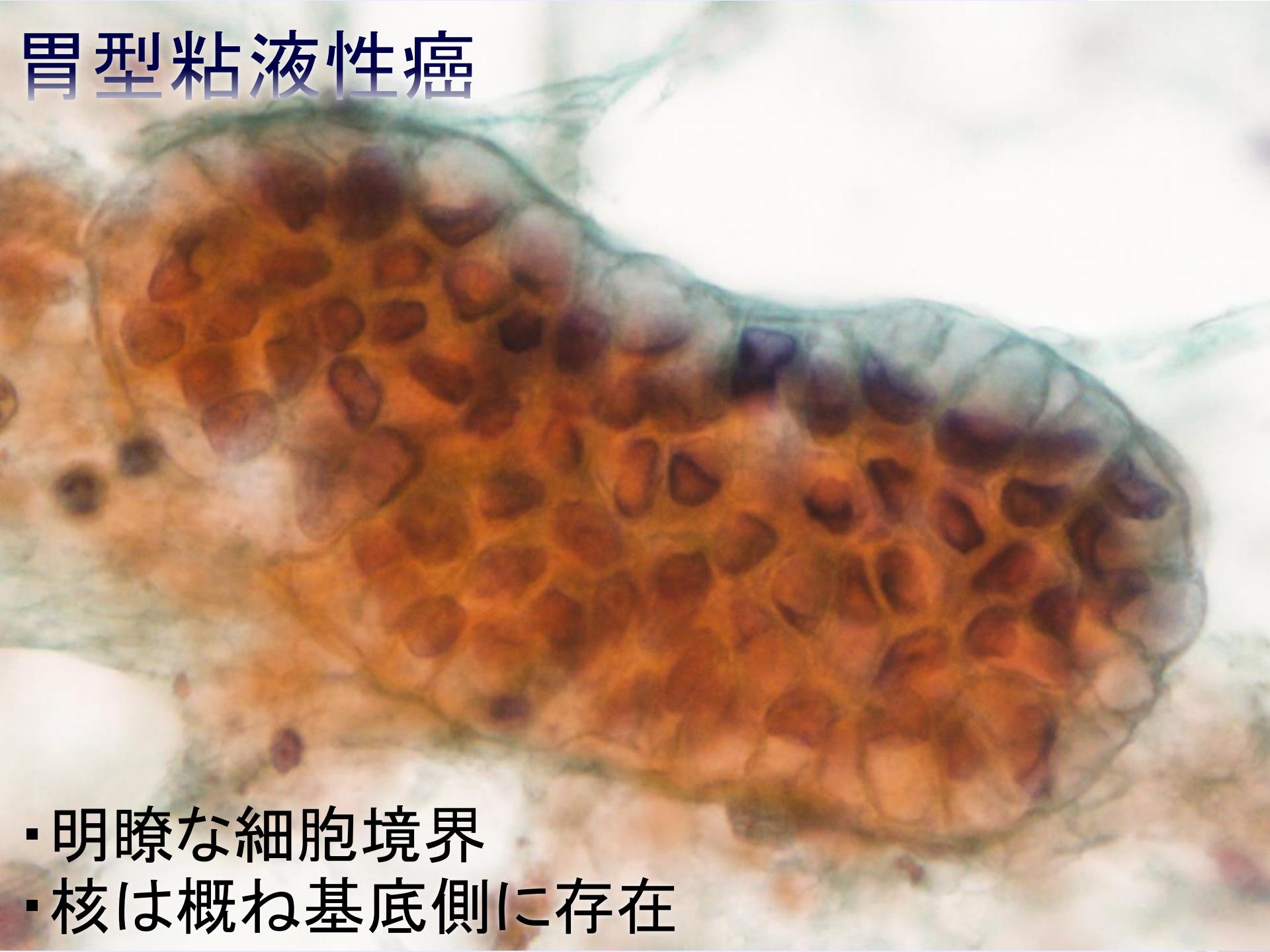
抗体	陽性率(%)
CAIX	83
CA19.9	100
HNF1 β	93
HER2	4
MMR	95
HIK1083	ND
p16	38(HPVゲノム陰性)
p53	41(mutation type)
	59(wild type)

胃型粘液性癌



- ・核配列の乱れ
- ・豊富な透明～黄色調粘液

胃型粘液性癌



- ・明瞭な細胞境界
- ・核は概ね基底側に存在

2005年～2017年帝京大学病院にて経験された頸部 腺癌のうちHE染色標本の再鏡検にて胃型粘液性癌 と推定された8症例の検討

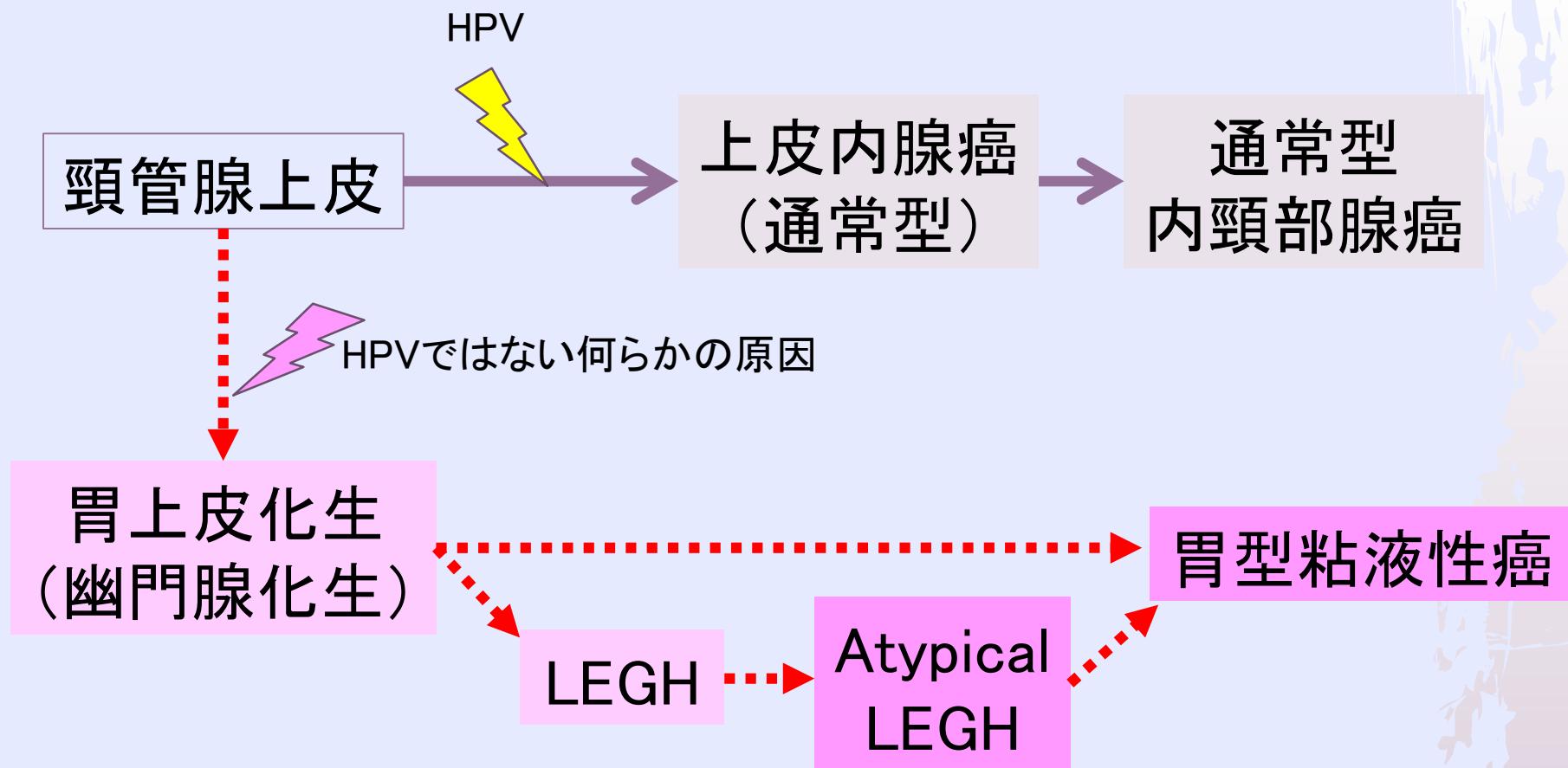
	発育	HIK1083	MUC6	p53	p16	細胞診での粘液 の色調
症例1 (本症例)	内向性	—	focal +	M	—	淡明～橙、やや 黄色調
症例2	内向性	—	—	WT	—	淡明、一部黄色 調
症例3 (生検)		—	—	M	—	淡明、一部黄色 調
症例4	内向性	focal +	+	M	—	淡明、一部黄色 調
症例5	表層性(MIC)	—	+	M	+	淡明、桃色調
症例6	内向性	+	—	WT	—	淡明、一部黄色 調
症例7	内向性	focal +	focal +	M	—	淡明(退色により 不明瞭)
症例8	内向性	focal +	+	M	+	淡明、橙、桃色調

M:mutant WT: wild type

胃型粘液を有する子宮頸部腺系病変

良性	Lobular endocervical glandular hyperplasia(LEGH) Simple gastric metaplasia Tunnel cluster, type A
前癌病変/ 上皮内癌	Atypical Lobular endocervical glandular hyperplasia(Atypical LEGH) Adenocarcinoma in situ of gastric type
悪性	Mucinous carcinoma, gastric type Minimal deviation adenocarcinoma(adenoma malignum)
特殊病態	Synchronous mucinous metaplasia and neoplasia of the female genital tract Peutz–Jeghers syndrome

頸部腺癌の発生



まとめ

- ◆ 子宮頸癌取扱い規約第4版に胃型粘液性癌が新たに記載された。
- ◆ 胃型粘液性癌は、HPV非関連で、通常型内頸部腺癌に比して有意に予後が悪い。
- ◆ 組織学的には、豊富な粘液を有し、細胞境界の明瞭な腫瘍細胞が特徴である。
- ◆ 細胞学的には、細胞境界の明瞭な重積性集塊あるいはシート状集塊で出現し、細胞質内に透明～黄色調粘液が認められる。